

認定 NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所 理事長 小野村 哲

無償配信を開始 「不登校の心に寄り添い 育ち・学びを支えるために～私たちが行ってきたこと みんなでいっしょに考えたいこと～」 <http://rise.gr.jp/>

■ 概要

不登校や LD 等学習につまずきがちな子ども達の支援に取り組む 認定 NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所（つくば市 代表 小野村哲）が運営する学びの場「ライズ学園」が、15 周年の節目に制作した冊子「不登校の心に寄り添い 育ち・学びを支えるために～私たちが行ってきたこと みんなでいっしょに考えたいこと」を、同法人ホームページ上で無料公開した。

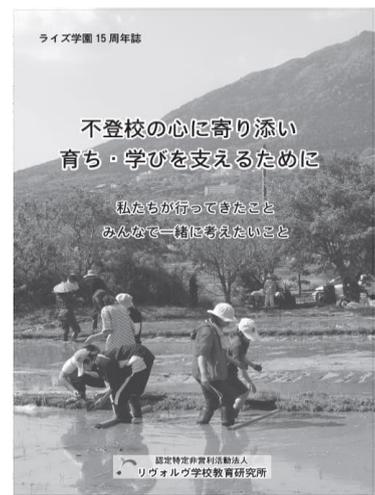
本冊子では、実践から得られた知見と具体的な実践事例を紹介。「不登校の問題は、子ども達が学校に行かない自分をダメだと思い込んでしまうこと、それで自信を失ってしまうことではないか」とし、学園運営にあたっての 10 の理念、教科支援と体験活動の実際、スタッフの確保・資質向上等に対する提案を含んだ内容となっている。

同法人では本冊子を通して、より多くの教育関係者と関係をつくり、意見を交わしながら、教育全体の質の向上に寄与したい考えである。

■ 冊子の内容

<目次>

- I. 不登校って何？ライズ学園が大切にしていること
- II. 私たちが行ってきたこと
 1. ライズ学園の活動概要
 2. ライズ学園の実践記録
 - (1) 実践にあたって
 - (2) 教科学習（国語/英語/数学・算数/理科/社会）
 - (3) 体験活動からの学び（スポーツ/絵画造形/農業体験/被災地支援 等）
- III. みんなでいっしょに考えたいこと
 1. 実践から見えてきた課題
 2. 私たちが目指すべきところ



A4版 全99ページ

<本文より一部抜粋>

・ライズ学園のモットーは「みんなちがってみんないい」、そしてリヴォルヴ学校教育研究所では「対立から共育へ」をモットーとしています。大人と子ども、立場によって違いがあることも確かですが、保護者だから、先生だからといって誰でも完璧であり得るはずはありません。子どもたちのためにも、お互いの非を責めるより、助け合い、支え合う姿を見せられたなраと思ひます。

■ 無料公開ページ

リヴォルヴ学校教育研究所「ライズ学園」ページ内 http://rise.gr.jp/rise_document2016

【認定 NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所とは】

不登校児童生徒のための「ライズ学園」の運営を通じて学校教育のあり方を模索するとともに、教育に関するセミナー・ワークショップの開催、実践と研究の成果をまとめた教材の開発、教材の地産地消を目指した教材販売に取り組んでいる。

【本件の連絡先】

NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所 担当者 松井 由佳
Tel 029-856-8143 FAX 029-896-4035
e-mail : rise@cure.ocn.ne.jp URL : <http://rise.gr.jp/>
〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-13-3 パルスグランレジオつくば千現 502